

福永 秀敏 (ふくなが ひでとし)

医学博士。1972年、鹿児島大学医学部卒。「世界で初めて筋無力症候群の病態」を解明。1998年から国立病院機構 南九州病院院長。同病院は、2011年、日本医療機能評価機構の「認定」と「患者満足度日本一」の評価を得る。『病と老いの物語』など著書多数。

岩本 幸英 (いわもと ゆきひで)

医学博士。1978年久留米大学医学部卒。米国NIH(国立衛生研究所)、福岡市市民病院整形外科医長などを経て、96年九州大学大学院医学研究院整形外科教授、2010年同大学病院先進予防医療センター長。2009年日本整形外科学会学術総会会長、2011年から理事長。

武田 祐介 (たけだ ゆうすけ)

社会保険労務士、1級ファイナンシャル・プランニング技能士。慶應義塾大学経済学部卒。出版社勤務を経て、2009年武田祐介社会保険労務士事務所開設。株式会社きんざいFPセンター専任講師。公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会理事。

三好 貴志男 (みよし きしお)

公認会計士、税理士。慶應義塾大学経済学部卒。監査法人トーマツを経て、1987年、公認会計士事務所を開設。みどり合同税理士法人理事長。株式会社きんざいFPセンター顧問。主な共著書に、『相続贈与の実践対策』『FP辞典』『FP入門』など。

小原 崇裕 (おはら たかひろ)

出版社経営を経て、2002年、特定非営利活動(NPO)法人永代供養推進協会を設立、代表理事。僧籍を持つ。無料仏事相談を窓口にして、一般市民の立場に立った、エンディングをめぐる事前対策、葬儀、お墓・永代供養等の相談と支援活動を行っている。

鷺山 俊男 (わしやまとしお)

CFP(歴20年)、中小企業診断士、行政書士等の公的資格多数。株式会社F Pプラザ・あい21代表取締役、公益社団法人日本産業退職者協会参与、NPO法人日本FPネットワーク理事長、社団法人茨城経営コンサルタント協会理事長。市民後見人制度普及のパイオニア。

西尾 孝幸 (にしお たかゆき)

弁護士、放送大学非常勤講師。鹿児島県出身、東京大学法学部卒。著書「社長！その対応はコンプラ違反です」(ぱる出版)など。平成10年に設立した「みらい総合法律事務所」は弁護士18名で、企業法務・不動産・交通事故・家族法・知的財産権などを取り扱う。